

地域	岡山県真庭市	認定日	平成23年9月30日	6-23-054
事業分類	製造(窯業・土石)	テーマ分類	環境、リサイクル	

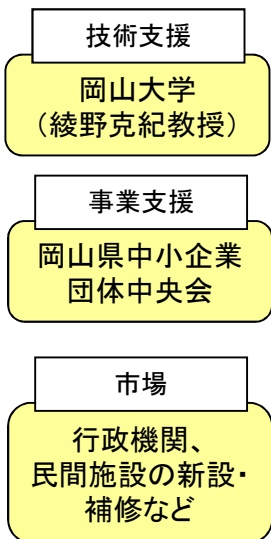
事業名: 高炉スラグを用いた、硫酸や塩害に強い低炭素型コンクリート「ハレーサルト」の事業化

～耐硫酸・耐塩害・低炭素・資源循環・高強度に優れたコンクリート製品を提供～

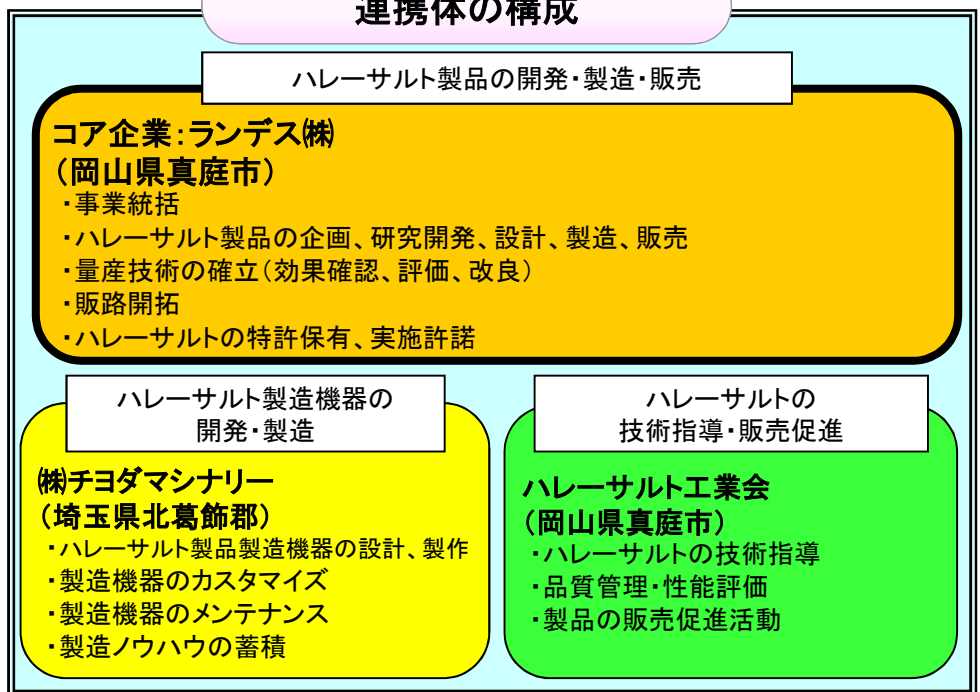
○事業概要(新規性、市場性等)

- ・本事業では、製鉄所からの副産物である高炉スラグを使い、高強度と耐硫酸性の両立が可能なコンクリートである「ハレーサルト*」を活用した製品を生産・販売して「ハレーサルト」の事業化を図る。ハレーサルトとは、セメントの一部に高炉スラグ微粉末を使用し、細骨材として高炉スラグ細骨材を100%用いて、耐硫酸性を向上したコンクリートであり、硫酸と接したとき、接触面に強固な二水石膏膜を形成して硫酸に対し抵抗することを特徴とする。
- ・従来の普通コンクリートは強度が高いほど耐硫酸性能が低下するのに対し、ハレーサルトは高強度でも硫酸に対する高い浸食抵抗性を発揮する。また普通コンクリートに比べて塩害に対する耐久性も高い。
- ・セメントの使用量を減らせるため、CO2排出量も35%以上削減することができる。
- ・市場は、硫酸(塩)劣化や塩害劣化が想定される環境における新設・補修工事(公共・民間)などをターゲットとする。 *ハレーサルト: 耐硫酸性に優れたコンクリートConcrete with High Resistance to Sulfuric Acid Attackの略

事業推進体制



連携体の構成



支援予定メニュー

- ①補助金
- ②低利融資
- ③信用保証の特例
- ④特許料減免

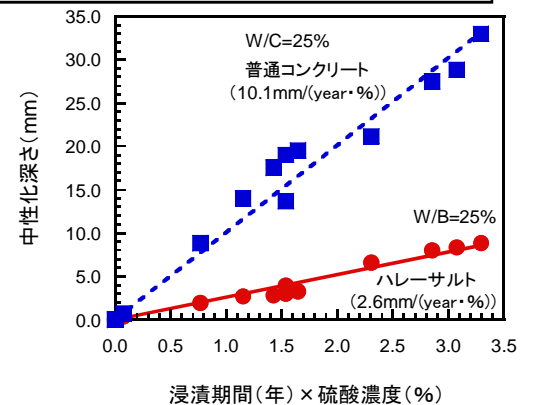


硫酸によるコンクリート劣化

左:ハレーサルト 右:普通コンクリート



硫酸5%溶液に92日間浸漬した試験体状況



ハレーサルトと普通コンクリートの耐硫酸性能比較